

緑と水を生かした快適な生活環境の創造「人“いきいき”まち“きらり”」づくり ～岡山県・赤磐市～

【市の現況と課題】

□位置と地勢

- ・岡山県の南東部に位置
- ・総面積：209.43km²

□人口動態

- ・高齢化が進む
(高齢化率28.8%)



【現況と課題】

- 農地や山林は、恵まれた自然環境を活かしたまちづくりを進めていく上で重要な資源であり、その保全にあたっては、歴史的資源や景勝地との調和を図りながら進めていくことが必要。
- 計画的な育林など森林の整備・保全、林業従事者の確保が必要。
- 市内の農産物加工施設、農産物集出荷施設が散在していることにより、連携による相乗効果が発揮されていない。
- 米・果物などの地域の特産を生かし、収益性の高い作物の産地化を進め、米・桃・ぶどうに続く特産物のブランド化を図ることが必要。
- 豊かな自然、観光施設に文化財まで組み入れた観光資源のネットワーク化、年間を通じて多くの人々が気軽に訪れることのできる観光ルートの設定、イベント情報等の提供、観光施設等の整備が必要。

【地域再生計画の計画名及び目標】

特産物のブランド化を進めるとともに、道路網を整備することで森林の整備・保全や観光資源のネットワーク化を進め、地域の産業振興と自然環境のバランスに配慮した「人“いきいき”まち“きらり”」のまちづくりを目指す。



緑と水を生かした快適な生活環境の創造 「人“いきいき”まち“きらり”」づくり

【目標】

- ◆農林産物の物流の効率化
売上高の10%増加
- ◆交通障害箇所の解消→6箇所(市道)
市内および市外からの利用交通量10%増加
- ◆自然環境の保全と林業の振興
利用区域内の森林施業面積の10%増加

【目標達成に向けた具体的な実施事業】

●地域資源である緑と水を生かして「人“いきいき”まち“きらり”」のまちづくりを目指し、下記の3つの事業を推進する。

◆農林産物の物流の効率化

果樹等のブランド化を図り、観光産業の柱として地域の活性化及び顧客の増加、また市内どこからでもインターチェンジまで30分計画を図る。

◆交通障害箇所の解消→6箇所(市道)

既存道路の整備を行うことで市内地域間の連携を図り、農産物および観光資源を主に地域の活性化を図る。

市道黒本是里線、五日市西中線 外 4路線

◆自然環境の保全と林業の振興

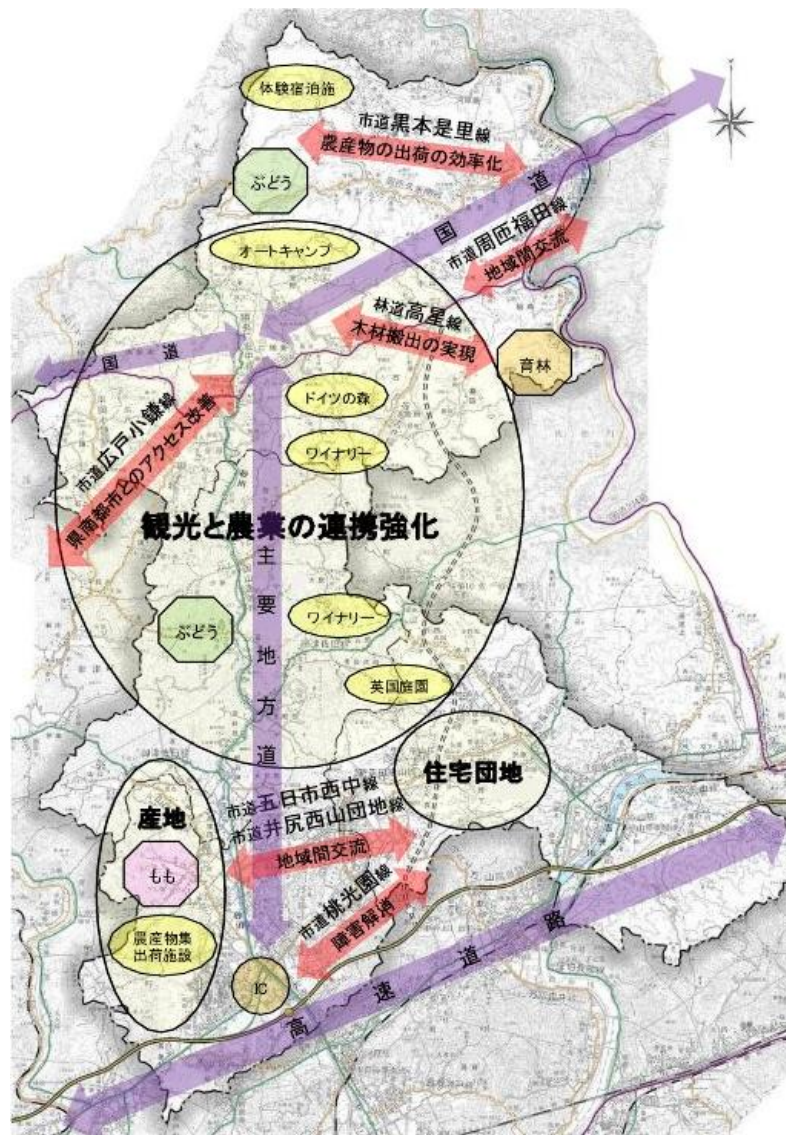
林道整備を行い、機械の大型化で作業効率を向上させ林業従事者の確保を図る。

林道高星線

●目標を達成するために下記の事業に取り組む。

岡山県が施工する「広域農道備前東部地区」及び地域高規格道路「美作岡山道路」の建設を支援するとともに沿線地域の地域振興プロジェクトを推進する。

【地域再生のイメージ】



緑と水を生かした快適な生活環境の創造「人“いきいき”まち“きらり”」づくり

【目標達成に向けた具体的な実施事業】

目標1：農林産物の物流の効率化(売上高の10%増加)

【事業実施・整備による効果】

搬出が極めて困難であった用材木が、林道の開設により容易に搬出可能となったり、市道の整備により産地と集出荷施設や高速道路等との接続時間が短縮され物流の効率化が図られた。加えて市では付加価値の高い農産物の生産を支援している。中でも特に品質の良いピオーネを平成22年からは赤磐の新ブランド『誉乃AKASAKA』（ほまれのあかさか）として販売している。

また、舗装の改良により輸送時の荷傷みも大幅に減少し、農産物の品質保持に役立っている。

JAでの農林産物の売上については、全体で約13%減少した。しかし、農家では積極的に農林産物の増産、販路拡大に努めており、最近5年では、赤磐市の特産であるぶどうや桃の新規就農者が10名以上認定されていることから今後、売上についても増加することが期待できる。

バイパス化され、大型車もスムーズに通れるようになった市道黒本是里線
(ぶどう選果場から国道374号までの時間短縮、約5分)



緑と水を生かした快適な生活環境の創造「人“いきいき”まち“きらり”」づくり

【目標達成に向けた具体的な実施事業】

目標2: 交通障害箇所の解消→6箇所(市道)
(市内および市外からの利用交通量10%増加)

【事業実施・整備による効果】

道幅が狭く大型車両が通れなかった箇所や、カーブで見通しが悪く危険だった箇所が解消され、安全に通行できるようになった。

また、効率的なスクールバス運行ルートの設定が可能になり、安全で円滑な登下校を行うことができています。

障害箇所の解消

市道名	地区	延長
広戸小鎌線	小鎌	740m
黒本是里線	是里	720m
桃光園線	下市	260m
五日市西中線	西中	1040m
井尻西山団地線	下仁保	220m
周匝福田線	福田	72m
合計		3052m

交通量については、市内平均で約6%減少しましたが、交通障害を解消したことから市内主要観光施設の入客数は平均で約4%増加している。特に、市南部の特産品販売所『稚媛の里』や北部の『リゾートハウスこれさと』『ドイツの森』の入客数は大幅に増加した。

新五日市橋は県道岡山吉井線と山口山陽線とを直結し、下市地区の渋滞緩和に役立っている。
また、砂川両岸地域の交流の促進も期待される。



緑と水を生かした快適な生活環境の創造「人“いきいき”まち“きらり”」づくり

【目標達成に向けた具体的な実施事業】

目標3：自然環境の保全と林業の振興（利用区域内の森林施業面積10%増加）

【事業実施・整備による効果】

基幹となる林道や枝となる作業道を新設することにより、大型機械での施業や車両での運搬が可能となり、間伐作業、伐木の搬出等の施業効率や安全性が向上した。これにより、施業範囲の拡大が図られた。



林道開設

林道名	地区	開設延長
高星線	暮田・高田・稻蒔	2334m



森林施業面積

計画	実績	増減
9.68ha	11.69ha	20.8%増加